

「第2回川内川水防災意識社会再構築協議会」開催

川内川において、水防災意識社会の再構築を図るため、国・県・沿川3市2町（薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市）からなる「川内川水防災意識社会再構築協議会」を平成28年3月18日に設置しました。

平成28年6月10日、第2回の協議会を開催し、これまで取り組んできたアクションプログラムの現状と課題等について再確認を行い、関係機関が連携して今後概ね5年間で取り組む事項、ハード対策（避難行動や市町長の避難発令命令に資するCCTVカメラ等の整備及びHP等での情報提供の拡充等）やソフト対策（人材育成を目的とした水防災河川学習の推進等）を、「川内川水害に強い地域づくりの更なる推進のための取組方針」として九州で初めて策定しました。

開催概要

- 日時：平成28年6月10日（金）
- 会場：薩摩川内市 セントピア

議事内容

- ・ 取組と新たな課題、有事の際のリスクや避難対策などについて意見交換を行った。
- ・ 水害に強い地域づくりをさらに推進するための取組方針について合意形成がなされた。

主な意見等

- ・ 避難行動に繋がる有効的な情報提供が必要である。
- ・ 災害時の住民への情報提供手段の拡充が必要である。

減災のための目標

■ 5年間で達成すべき目標

住民自らが避難行動をとり、地域の活力を支えることができる「川内川水害に強い地域づくり」を目指す。

上記目標の達成に向け、洪水を河川内で安全に流すハード対策に加え、平成18年水害対応アクションプログラムの再確認・見直しを行い、以下の項目の取り組みを実施する。

- ① 住民自らの避難行動や企業の防災対応を促すための迅速かつ的確な防災情報の提供と、水防災学習・教育の推進
- ② 川内川の特徴を踏まえた安全かつ迅速な避難、着実な水防活動を行うための取組
- ③ 大規模出水時において、社会経済への影響を最小限に抑え地域社会を支えるための取組

協議会の構成委員

薩摩川内市長	岩切 秀雄
さつま町長	日高 政勝
伊佐市長	隈元 新
湧水町長	米満 重満
えびの市長	村岡 隆明
鹿児島県 土木部長	久保田 一
鹿児島県 危機管理局長	永野 司
宮崎県 河川課長	阿佐 真一
宮崎県 危機管理局長	平原 利明
鹿児島地方気象台長	里田 弘志
宮崎地方気象台長	小泉 岳司
川内川河川事務所長	坂元 浩二
鶴田ダム管理所長	川野 晃



薩摩川内市長 さつま町長



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所 調査課
〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号 TEL 0996-22-3271